

1. 活動の概要

7月11日(木)、島根県立緑が丘養護学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。さいしょに古代人の道具と鏡、まが玉について、出土品をみながら学習しました。

つぎに、「まが玉づくり」と「金属鏡づくり」のどちらかを選んで、チャレンジしました。「まが玉づくり」は、滑石をヤスリやサンドペーパーを使って削ります。石の粉がいっぱい出るまでがんばって磨いて、やっと形ができてきます。「金属鏡づくり」も、手が真っ黒になるまで磨いていくと、だんだん光り輝いてきました。短時間の体験活動でしたが、古代人の技術のすごさをあらためて実感しました。

2. 活動の様子



「古代の鏡とまが玉について学習中」



「まが玉作りに挑戦中です」

3. 子ども塾を終えて

1) 生徒の皆さんから

- ・最初は想像もつかないくらい何も映らなかったのに、たくさん磨いたら輝くように映ったのでとてもうれしかった。
- ・まが玉をやすりで丸くするのが楽しくて心にのこった。

2) 担任の先生から

- ・まが玉と金属鏡をどちらか選ぶことができてよかった。
- ・まが玉や金属鏡を実際に使っているイメージ画などがあると興味をもてた

3) 埋文センターから

手を真っ黒・真っ白にして一生懸命磨いている姿が印象的でした。体験をとおして、古代のひとびとの暮らしがより身近に感じてもらえたのではないのでしょうか。

こうした学習活動をきっかけに、地域の歴史や文化財に興味・関心を持っていただけるとうれしいです。